

きのこ・カビ・酒

～日本の自然と人が育んだ食文化～

2020年

10月24日**土** - 11月3日**火・祝**

[開園時間] 9:00～16:30(入園は16:00まで) 期間中休園なし

[会場] 〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-1-1
TEL:029-851-5159 FAX:029-853-8998
<http://www.tbg.kahaku.go.jp/>

[入園料] 一般 320円(20名以上の団体料金250円) 高校生以下・65歳以上は無料
障害者手帳をお持ちの方及びその介護者1名無料

[主催] 独立行政法人国立科学博物館・文化庁・独立行政法人日本芸術文化振興会

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、入場の制限や、展示内容等が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。最新の情報はHPでご確認ください。

詳しくはこちらから ↓

<http://www.tbg.kahaku.go.jp/event/2020/10kinoko/>



今年のちらし・ポスターは、昨年の「きのこ」入賞作品(勝村康佑くん)をもとにデザインしました。



令和2年度日本博主催・共催型プロジェクト



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

植物多様性を知る・守る・伝える
筑波実験植物園
Tsukuba Botanical Garden

きのこ・カビ・酒 ~日本の自然と人が育んだ食文化~

きのこって何の仲間？どんな形のきのこがある？きのこってどこで何をしている？そんな不思議がいっぱいのきのこワールド。今回は大量の野生および栽培きのこを展示するだけでなく、日本で独自に進化したきのこ食文化を特集します。また、きのこの仲間であるカビを使った食文化(酒・しょうゆ・みそなど)や、地衣類を食べるといふ世界的にも稀な文化についても紹介します。

展示内容

野生きのこ・栽培きのこの画コンテスト応募作品展
きのこアート作品(木版画など)
きのこ研究の展示
カビ食・地衣類食の展示
きのこグッズ販売



今年も開催！きのこ愛にあふれた「きのこ画コンテスト」(=きのこコン)を開催します。

きのこ画コンテスト

研修展示館2F展示室

●表彰式: 11/1(日) 12:00~(20分程度)

応募期間: 9/27(日)まで ※当日消印有効

※応募用紙は筑波実験植物園内にて直接配布しています。



研修展示館1F

きのこ食文化の展示

日本人は古くから、多くのきのこやカビ、酵母など様々な菌類を、食文化に取り込んできました。日本では人気があるけど、海外では見向きもされないきのこ。反対に、欧米では人気でも日本ではほとんど食べられていないきのこなど、食文化の違いを考察するとともに、標本やレプリカ、模型などをもとに、多様なきのこを紹介します。

研修展示館1F・3F

カビ食・地衣食の展示

きのことカビは同じ菌類。でも、カビに良い印象を持っている人はあまりないかもしれません。このコーナーでは日本が世界に誇るカビ食文化、特に日本人が古くから利用してきたコウジカビによる発酵について大特集します。また、世界的に見ても稀な、地衣類という菌類を食べる文化についても紹介します。

多目的温室

野生きのこ・栽培きのこの展示

つくば市を中心に日本各地で採取された野生のきのこを会期中展示紹介します。また、代表的な栽培きのこについて栽培状況がわかる形で展示します。
※新型コロナウイルス感染予防のため、〈触る・嗅ぐ〉の体験は中止させていただきます。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年のイベント(園内きのこ案内、セミナー、シンポジウム)については対面式ではなく、オンライン配信を予定しております。詳細はホームページをご確認ください。

詳しくはこちらから → <http://www.tb.g.kahaku.go.jp/event/2020/10kinoko/>

アクセス

[お車でお越しの方] 常磐自動車道 桜土浦I.C.から北(筑波山方面)へ約8km/圏央道 つくば中央I.C.から約7km 無料駐車場 約120台
[電車・バスでお越しの方] つくばエクスプレス「つくば」駅より 関東鉄道バス テクノパーク大穂行き「筑波実験植物園前」下車徒歩3分
または筑波大学循環(左回り)「天久保2丁目」下車徒歩10分 つくバス北部シャトル筑波山口行き「天久保(筑波実験植物園)」下車徒歩3分